

成人看護学

専門分野

(令和6年度 3年生用)

授業科目	地域医療支援実習	講師	氏名	長谷川杏子	開講年次	単位・時間
			所属	専任教員	3年次 前期	2単位 60時間
			実務経験	臨床看護師		
科目のねらい	地域で暮らす対象の疾病予防や健康増進およびQOL向上のための看護の役割を学び、また地域のシステムにおける看護の役割を理解し、システムが機能するために必要な多職種との連携・協働を学ぶ。					
到達目標						
知識・技術	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域医療支援の仕組みを説明できる。 2. 地域医療機関（かかりつけ医）の役割を説明できる。 3. 治療・検査を受ける対象の身体的・心理的・社会的状況を説明できる。 4. 対象の健康生活、疾病の予防、健康の保持増進について説明できる。 					
思考・判断表現	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各実習場所での役割を明確にできる。 2. 対象の生涯にわたるセルフケアコントロールの必要性を考えを述べるができる。 3. 対象の受診行動に至る過程を理解し、受診行動が周囲（家庭・職場・地域社会）や対象の役割遂行に及ぼす影響を説明できる。 4. 継続看護の必要性について説明できる。 5. 多職種連携・協働のシステムを説明できる。 					
主体的学習態度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各実習場所での多職種の役割を明確にできる。 2. 対象と積極的にコミュニケーションをとり健康支援活動の必要性を理解する。 					
実習期間及び実習時間	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習期間：10日間 外来4日（内視鏡室1日） 透析室1日 健診センター2日 専門外来2日 まとめ1日 実習オリエンテーション 2時間 2. 実習時間：原則として8：30～14：30 					
実習内容及び実習方法	<p>【外来】 (実習内容) 1. 外来で行われている治療・看護を見学する。 2. 多職種との連携の場面を見学する。 (実習方法) 1. 看護師に同行し、診察、検査、治療場面での援助方法や対象への対応を見学する。 2. 看護師の指導のもと、カルテより情報収集する。 3. 看護師または多職種に同行し、指導場面を見学する</p> <p>【透析室】 (実習内容) 透析の実際を見学する (実習方法) 担当看護師に同行し、透析開始から終了までの流れを見学する。</p> <p>【内視鏡室】 (実習内容) 内視鏡室で行われる検査・治療を見学する (実習方法) 担当看護師に同行し、検査前・中・後の処置や説明、指導などの患者への対応を見学する。</p> <p>【健診センター】 (実習内容) 健診の流れを見学する。 (実習方法) 1. 担当看護師に同行し、健診の種類に応じた受付での対応、問診聴取から健診の説明や案内、検査時の介助、保健指導の実際を見学する。 2. 1名の健診者に同行し、自己の健康観等のインタビューを行う</p> <p>【専門外来】 (実習内容) 外来受診の一連を見学する。 (実習方法) 1. 1名の受診者の受診から会計および処方薬受け取りまでに同行する。 2. 看護師に同行し、診察、検査、治療、指導場面を見学する。 3. 紹介状の流れを見学する。</p> <p>【まとめ】 (実習内容) 当該実習終了後に実習での学びを共有する。 (実習方法) 1. 各自で各実習場所での学びをまとめる。 2. グループを編成し各自の学びをグループ間で共有する。 3. グループでの学びを全体に発表する。</p>					
実習施設	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会医療法人水光会 宗像水光会総合病院（外来、内視鏡室、透析室、総合健診センター） 2. 宗像医師会病院（外来、内視鏡室、透析室、健診センター） ※外来、内視鏡、透析、健診実習は、上記いずれかの施設で行う。 3. 医療法人 しば田クリニック 4. 在宅療養支援診療所 医療法人 コールメディカルクリニック福岡 5. 医療法人 灯里 明日花クリニック 6. 在宅療養支援診療所 菜の花診療所 7. 医療法人 福岡諏訪クリニック ※専門外来実習は、上記3～7の実習施設いずれかの1か所で行う。					
評価方法及び評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「評価規程」および「実習に関する規程」、「追実習及び再実習に関する規程」に基づいて行う。 2. 地域支援実習の実習状況を基に、評価表により評価する。外来40% 内視鏡室5% 健診センター20% 透析室10% 専門外来20% まとめ5% 					
テキスト・参考文献	詳細は、地域支援実習実習要領および実習オリエンテーション時配布資料を参照してください。					
留意事項	既習した全領域の学習が必要なため、自己にて積極的に学習を行うことになる。実習中、判断に困った際は臨床実習指導者、実習担当教員へ積極的に相談を行い、問題解決をすること。また、体調管理に十分留意すること。					